

加湿器でレジオネラ菌感染か＝高齢者施設で男性死亡－大分

(2018 年 1 月 19 日時事通信社)

大分県は 1 9 日、同県国東市の高齢者施設の入所者ら 3 人がレジオネラ菌に感染し、90 代の男性が 1 4 日に死亡していたと発表した。施設の超音波式加湿器から基準（100 ミリリットル中 10 個未満）の 2 万 2 0 0 0 倍の菌が検出されており、県は感染源とみている。

施設では昨年 1 2 月から今月にかけて、80～90 代の入所者ら 3 人が高熱やせきなどの症状で入院。全員がレジオネラ症と診断され、90 代の男性が死亡した。80 代の 1 人は完治したものの、その後誤嚥（ごえん）性肺炎で死亡、もう 1 人は快方に向かっている。

県東部保健所が施設に立ち入り検査を行った結果、1 5 日に感染者の居室にある加湿器から菌を検出した。現在は加湿器の使用を禁止しているという。(2018/01/19-21:30)